

UN-HABITAT IN ASIA & THE PACIFIC



Issue #6 | 1 July 2026

LEADERSHIP MESSAGE **Anacláudia Rossbach, Under-Secretary General and Executive Director of UN-Habitat**



第13回世界都市フォーラム（WUF13）は、2026年5月17日から22日までアゼルバイジャン・バクー市で開催されましたが、176カ国から5万7000人を超える参加者を集め、大成功を収めて閉幕しました。特にアジア太平洋地域から14名以上の閣僚・副大臣が現地で参加し、フォーラムのテーマである「世界の住宅: 安全で強靱な都市とコミュニティ」について、それぞれの経験と見解を共有しました。

住宅（居住権）は人権に含まれますが、私たちは依然としてその実現に苦慮しています。現在、世界は住宅危機に直面しており、最大34億人が影響を受けています。そのうち11億人はインフォーマル居住地やスラムに住み、3億人以上がホームレス状態にあります。この危機はあらゆる地域、あらゆる所得水準の人々に及び、開発途上国と先進国の両方に影響を与えています。気候変動、紛争、人道危機により、住宅問題と脆弱性はさらに深刻化しています。

こうした状況に対応するためには、コミュニティを強化し、生活環境を改善し、土地と住宅の所有権を確保し、インフォーマル居住地やスラムを改善し、基礎的サービスへのアクセスを拡大する解決策を推進する必要があります。何よりも、人々の健康、安全、尊厳を守らなければなりません。世界中の人々に住まいを提供するために、私たちは緊急に意欲的に行動しなければなりません。

WUF13を契機として、すべての人にとってより持続可能で包摂的かつ強靱な都市の未来を創造していくために、アジア太平洋地域の各国政府、地方自治体、パートナー、地域社会との連携を継続して参りたいと考えております。

REGIONAL OFFICE FOR ASIA AND THE PACIFIC



Presence in 17 countries



Farewell Message from Regional Director Kazuko Ishigaki

アジア太平洋地域統括本部長としての最後のメッセージとなります。国連ハビタットで素晴らしい同僚たちと共に働き、数々の刺激的で意義深い取組みに携わることができたことは、私にとって大変光栄で喜ばしいことでした。特に、アゼルバイジャン・バクー市で開催された第13回世界都市フォーラム（WUF13）は大成功を収め、アジア太平洋地域から14名の閣僚・副大臣のご参加、56を超えるパートナー主導イベント、そして12の展示ブースが展覧されたことを大変嬉しく思います。

私は国連ハビタットの住民を主体とするプロジェクトを非常に誇りに思っており、今後は加盟国の一員として国連ハビタットを支援して参りたいと考えております。アジア太平洋地域における私たちの活動を支えてくださった国連ハビタットのパートナー、ドナー、そして関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。

We appreciate support from the following countries/organizations

Adaptation Fund Board/ ASEAN/ ATOM Myanmar Ltd./ Beijing Chaoyang Environment Group Co. Ltd/ Beijing Future Science City Management Committee/ Botnar Foundation/ C Team/ CDHT/ CDRI/ China Centre for Urban Development, Government of China/ China/ Citizens Net for UN-Habitat Fukuoka (CNHF)/ Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit (GIZ)/ Dinghai District/ District Collectorate, Jaipur, Government of Odisha/ FCDO/ GCF/ IDF/ IFENG.com/ India/ IRAF/ ISoftStone Smart Technology Company Ltd. (ISSTECH)/ Japan/ Japan Habitat Association (JHA)/ JICA/ KOICA/ Luxembourg/ Nanjing Planning and Natural Resources Bureau/ Norwegian Retailer's Environment Fund (NREF)/ Malaysia/ Netherlands/ Raikela Iron Ore Mines, M/S Geetarani Mohanty/ Republic of Korea/ Shenzhen Institute of Building Research Co., Ltd/ Shuangjing Sub-district of Chaoyang District, Beijing/ TMF/ UK-PACT/ UNDP/ UN Peace and Development Trust Fund/ UNOPS/ USAID/ Wanxiang/ Weihai Municipality/ WLSP/ WPD/ Xinchao Media/ Xuzhou Housing and Urban & Rural Construction Bureau/ Xuzhou Urban Planning Bureau

Projects in Asia and the Pacific



モンゴル – ゲルコミュニティのレジリエンス強化プロジェクト



Donor: Adaptation Fund

ウランバートルのゲル居住地域では、気候変動による洪水や冬の凍結により、脆弱な世帯の生活が脅かされています。国連ハビタットは、適応基金の資金援助による**ゲルコミュニティのレジリエンス強化プロジェクト**を通じて、ソングノハイルハン郡第26ホローで2kmの河川堤防と2つの貯水池を建設しました。

2025年に完成したこのシステムにより、年間最大140世帯への影響が解消され、地方自治体の災害対策費用は3万米ドルから1,500米ドルまで削減され、また、コミュニティの主体性が強化されたことで、拡張可能なレジリエンスモデルの実証となりました。

「何年かぶりに、被害を受けた世帯はゼロになりました。
このプロジェクトは、リスクと政府支出の両方を大幅に削減しました。」

- ソングノハイルハン郡第26ホロー知事、バトバヤル・バザラグチャア

スリランカ – 地域社会の社会経済的レジリエンス強化

「スリランカ中央州およびウバ州におけるCOVID-19パンデミックの影響を受けた地域社会の社会経済的レジリエンス強化」プロジェクトは、2022年から2026年にかけて、政府機関、地方自治体、地域団体との緊密な連携のもと実施されました。

この550万米ドルのプロジェクトは、ヌワラエリヤとバドゥッラの地域社会を強靱化し、10万6千人以上の人々に対して、安全な水、衛生設備、医療、そして生計手段へのアクセスを改善しました。

主な介入策には、妊産婦医療施設の改善、地域給水計画、浄水・水リサイクル施設の整備などが含まれます。また、病院における下水道・廃棄物管理施設の改修を通じて公衆衛生を向上させ、気候変動に配慮した農業支援を通じて農家を支援しました。



Donor: Korea International Cooperation Agency (KOICA)

「今では、ろ過・塩素消毒された重力式湧水のおかげで、家族の健康と幸福が守られています。
私たちが飲む一滴一滴が安全で、命を支えてくれる水です。」

- ヌワラエリヤ在住 R.A.イノカ・プリヤダルシャニさん

タイ: ASEAN持続可能な都市化戦略 (ASUS) プロジェクト – フェーズII



Donor: Government of Australia

ASUSプロジェクト – フェーズII (2024年～2026年) は、ASEAN事務局と国連ハビタット間の協力を強化し、ASEAN加盟国全体で持続可能な都市化を推進するものです。フェーズI (2020年～2022年) の成果に基づき、本プロジェクトは参加都市をASEAN加盟国の23都市に拡大し、実践的な都市開発ソリューションを支援するとともに、地方および国の能力構築を促進し、地域における知識共有とステークホルダーの関与を強化します。ASEANスマートシティネットワークとASEAN持続可能なインフラ委員会が主導し、オーストラリア政府が「オーストラリア・フォー・ASEAN・フューチャー・イニシアティブ (AUS4ASEAN)」を通じて支援する本プロジェクトは、地方、国、地域レベルでの協調行動を促進します。また、ASEAN共同体ビジョン2025、ASEAN連結性戦略計画2030アジェンダ、そして包摂的かつ持続可能な都市開発のためのニュー・アーバン・アジェンダの達成に貢献します。

開発途上都市であるイスカンダル・プテリは、経済発展、環境責任、そして包摂性のバランスを取りながら、持続可能な成長を計画することができます。**ASUSを通じて、私たちは他のASEAN都市と共に持続可能なモビリティソリューションをデザインしています。」**

- マレーシア、イスカンダル・プテリ市コミュニティ開発局長
ウルク・アハマド・ビン・ウルク・ハジ・モハマド・ザカリア

Voices from Country Offices

カンボジア

国連ハビタット カンボジア事務所は、東南アジアで最も急速に都市化が進み、気候変動の影響を受けやすい国の一つであるカンボジアにおいて、包摂的で強靭かつ持続可能な都市とコミュニティの構築を政府と長年にわたり支援してきました。国連ハビタットは、国家省庁、地方自治体、コミュニティとのパートナーシップを通じて、強靭な住宅、沿岸部のインフラ、水と衛生、都市ガバナンスに関するプログラムを提供しています。生活の質の向上と都市ガバナンスの近代化のために、テクノロジー主導のソリューションを統合しつつも人間を主体とするスマートシティ行動計画の策定に同事務所の技術支援は貢献しました。脆弱なコミュニティが、強靭な住宅、マングローブの再生、排水システムの改修、早期警報システムなどを通じて、気候変動に耐えられるよう整備されています。2026年には、土地管理・都市計画・建設省および環境省との間で覚書が締結され、長期的な制度的パートナーシップの深化に向けた重要な一歩となりました。



UN-Habitat Cambodia Team Photo

マレーシア

国連ハビタット マレーシア事務所は、気候変動へのレジリエンス、公共空間ガバナンス、地域協力の強化を目的とした国、州、都市レベルのパートナーシップを通じて、持続可能な都市開発を推進しています。適応基金の資金援助を受けているペナン ネイチャーベースド気候変動適応プログラム（PNBCAP）は、2026年に完成に向けて進捗しており、洪水緩和のための拡張可能なブルーグリーン・インフラを実証しています。また、国連ハビタットは、ASEAN 持続可能な都市化戦略（ASUS）フェーズIIを通じて、地方都市がモビリティ、レジリエンス、安全に関する提案を策定することを支援しています。住宅地方自治省（KPKT）および国家景観局と共同で実施している「私の公共空間プロジェクト」は、マレーシアの公共空間基準と認定メカニズムを強化しています。また、同事務所は、加盟国間でのニュー・アーバン・アジェンダの報告と知識交流を加速するための地域イニシアチブであるアジア太平洋都市課題プラットフォーム（AP UAP）を主導しています。



Malaysia delegation led by H.E. Nga Kor Ming, Minister of Housing and Local Government and President of the UN-Habitat Assembly, together with UN-Habitat at WUF13

Regional and Country Events

Date	Location	Event
7 July 2026	New York USA	High-Level Political Forum 2026
15-17 July 2026	New York USA	General Assembly on the New Urban Agenda Mid-Term Review
17-28 August 2026	Ulaanbaatar Mongolia	COP17 to combat desertification
20-22 August 2026	Ulaanbaatar Mongolia	International Mayor's Forum
2-4 September 2026	Yokohama Japan	Asia-Pacific Circular Cities Forum
20 September 2026	Shaoxing China	World Cleanup Day

第13回世界都市フォーラム（アゼルバイジャン・バクー市） 2026年5月17－22日

アゼルバイジャン・バクー市で開催された第13回世界都市フォーラム（WUF13）には、アジア太平洋地域の各国が議論やイベントに参加しました。国連ハビタット アジア太平洋統括福岡本部は、地域における主要な優先事項を反映した2つの特別セッションを企画しました。（1）持続可能な廃棄物管理と循環型経済、（2）小島嶼開発途上国（SIDS）における都市のレジリエンス、ブルーエコノミー、持続可能な観光。これらの主要セッションに加え、パートナー主導のイベントや都市展示会では、アジア太平洋地域の各国政府、地方自治体、民間企業、市民社会が一堂に会し、持続可能な都市開発のための経験や解決策を共有しました。



UN-Habitat Regional Office for Asia and the Pacific

8F, ACROS Fukuoka, 1-1-1 Tenjin, Chuo-ku, Fukuoka-shi, Fukuoka 810-0001 JAPAN

Email: habitat.fukuoka@un.org; URL: <https://fukuoka.unhabitat.org/>

Voices from Japan Team - Actions with Japan

Partnership

Tokyo
Japan



2026年5月29日、国連ハビタット地域プログラム局のバトリック・カナガシニング局長は、アジア太平洋地域統括本部長とともに、国連ハビタット推進銀連盟の鬼木誠会長、国土交通省インフラ担当副大臣の塩見秀幸氏、外務省地球規模課題審議官の中村良大使、JICAと会談しました。同氏は、国連ハビタットに対するこれまでの支援と5月に開催された第13回世界都市フォーラムへの協力に感謝の意を表し、2029年までの戦略的優先事項を改めて表明するとともに、国連ハビタットへの継続的な支援を要請しました。

Partnership

Tokyo
Japan



2026年4月22日、国連ハビタット アジア太平洋地域統括福岡本部は、東京で開催された世界獣医師会大会2026において、「持続可能な都市開発とワンヘルス」をテーマとしたセッションを開催しました。国連ハビタットは、2025年8月にFAVAワンヘルス福岡事務所と覚書を締結しています。このセッションでは、アジア太平洋地域統括本部長がワンヘルスに貢献する国連ハビタットの取組を紹介し、獣医学と都市計画の専門家とともに、都市開発とワンヘルスがどのように連携できるかについて議論しました。

Partnership

Tokyo
Japan



2026年5月14日、アジア太平洋地域統括本部長は、東京大学住宅都市再生センター設立記念シンポジウム「トランスフォーミング・プレイス：地方圏における都市と郊外の再生に向けて」のパネルディスカッションに参加しました。アジア太平洋地域における都市化と地方中核都市における課題、特に首位都市と地方都市との格差について紹介した後、均衡ある発展のための地域計画によって格差を是正していくことが、市民の機会均等とウェルビーイング向上のための手段として重要であることを強調しました。
(写真提供：東京大学)

Partnership

Tokyo
Japan



2026年6月9日、国連ハビタット アジア太平洋地域統括福岡本部は「アジア・太平洋地域の『持続可能なまちづくり』のための東京プラットフォーム (Tokyo SUSCAP)」第3回ネットワーク・セミナーを開催しました。2つのパネルディスカッションを通して、参加者は日本の国際協力イニシアチブ、技術、専門知識への理解を深めました。日本企業等8団体を迎えた共創ネットワークセッションでは、オンラインで参加した国連ハビタット各国事務所職員も含め、参加者同士が課題やニーズを共有し、新たな協働の可能性を探る有意義な機会となりました。

Networking

Baku
Azerbaijan



2026年5月19日、WUF13において、国連ハビタット アジア太平洋地域統括福岡本部は、日本の国土交通省国土政策局と共催で、ネットワーキングイベント「国土・地域計画策定・推進支援プラットフォーム(SPP)」を開催しました。

また、同年同月20日には、国土交通省都市局と共催で、ネットワーキングイベント「持続可能な都市の発展のための、公共交通志向型開発(TOD)と都市のグリーントランスフォーメーション」を開催しました。また2027年3月に横浜で開催される国際園芸博覧会(Green EXPO)にも焦点があてられました。

Strategic

Fukuoka,
Japan



2026年5月28日、国連ハビタット地域プログラム局のバトリック・カナガシニング局長が、4月の就任以降初めて福岡を訪問しました。アジア太平洋地域統括福岡本部の職員と戦略会議を開き、今後の計画について話し合いました。滞在期間は1日と短かったものの、活発な議論が交わされました。